

新生活も交通安全で予防救急!!

### 【交通事故による救急統計について】

春の全国交通安全運動に合わせて交通事故の予防を図るため、管内の過去5年間（2016年から2020年まで）の交通事故による救急統計を取りまとめましたのでお知らせします。

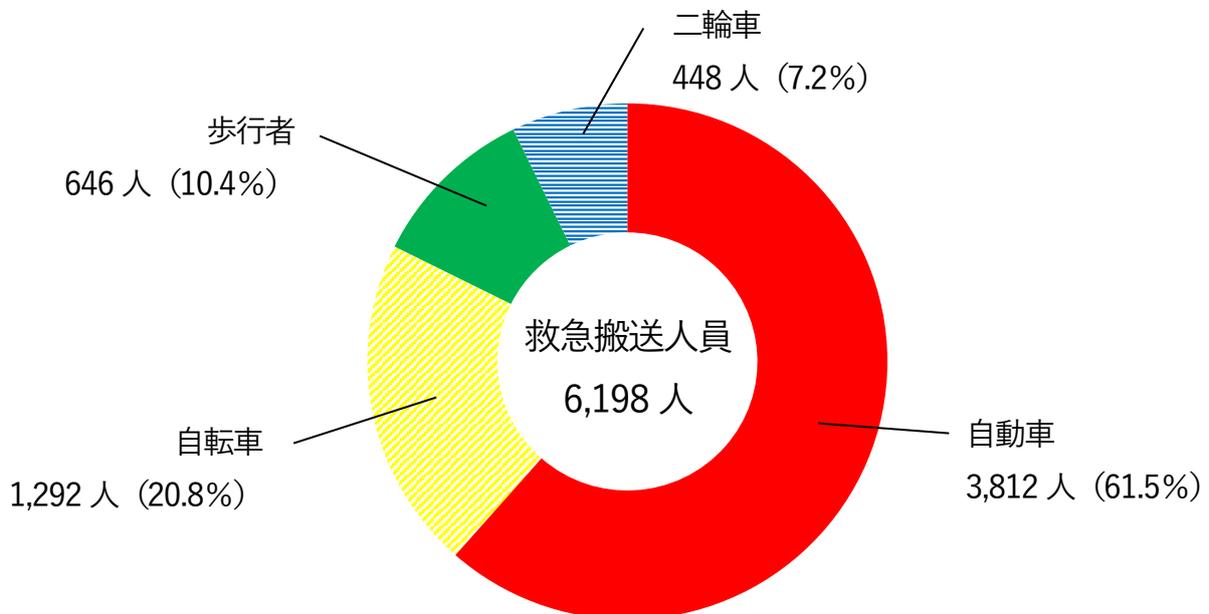
過去5年間、管内では6,198人が交通事故により救急搬送されています。

本統計では、交通事故によって救急搬送された方の事故に遭った際の移動形態を、「自動車」、「自転車」、「歩行者」、「二輪車」の4種類に分類し統計化しています。

※ 小数点を含むものは、小数第二位を四捨五入した数値。

#### 1 移動形態別の救急搬送人員

交通事故による救急搬送人員を事故に遭った際の移動形態別にみると、「自動車」が最も多く3,812人（61.5%）、次いで「自転車」が1,292人（20.8%）、「歩行者」が646人（10.4%）、「二輪車」が448人（7.2%）と続きます。



## 2 傷病程度別の救急搬送人員

交通事故による救急搬送人員を傷病程度別にみると、「軽症」が最も多く 5,039 人 (81.3%)、次いで「中等症」が 878 人 (14.2%)、「重症」が 242 人 (3.9%)、「死亡」が 39 人 (0.6%)と続きます。

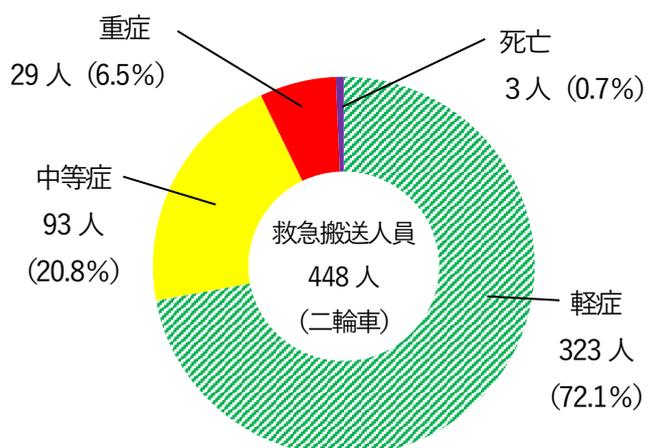
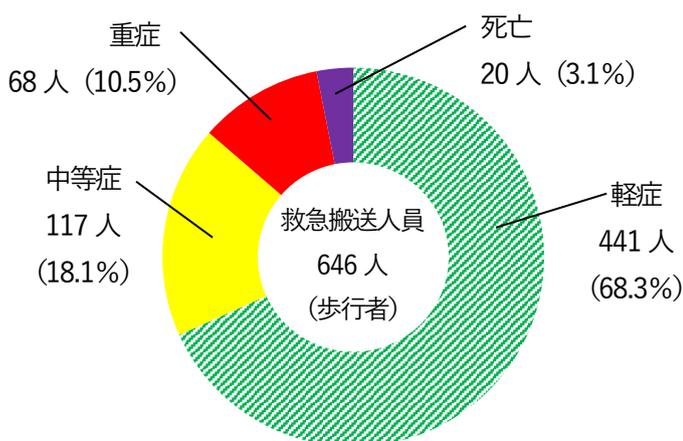
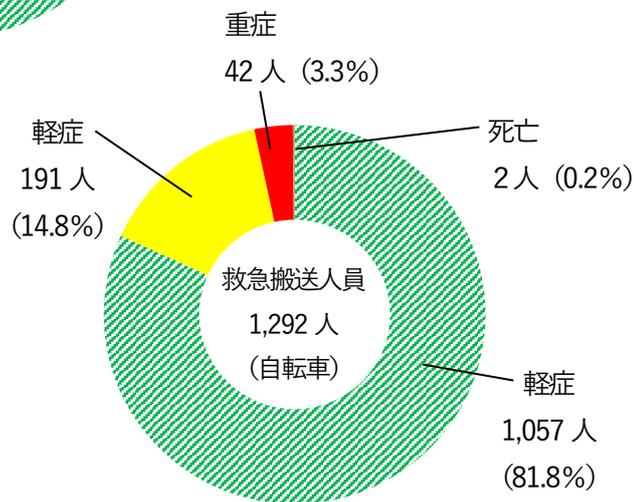
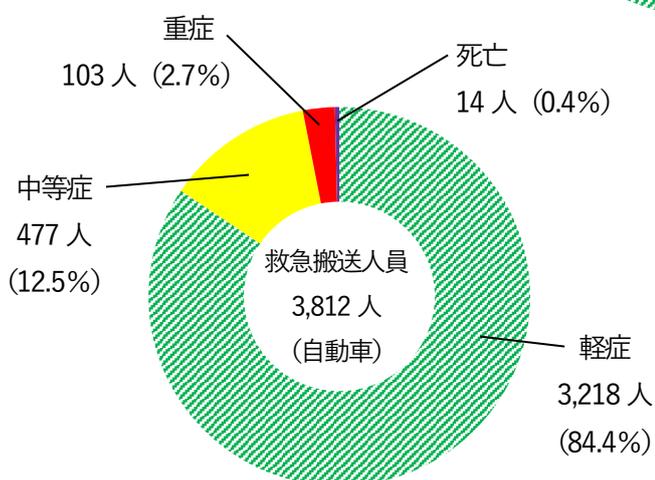
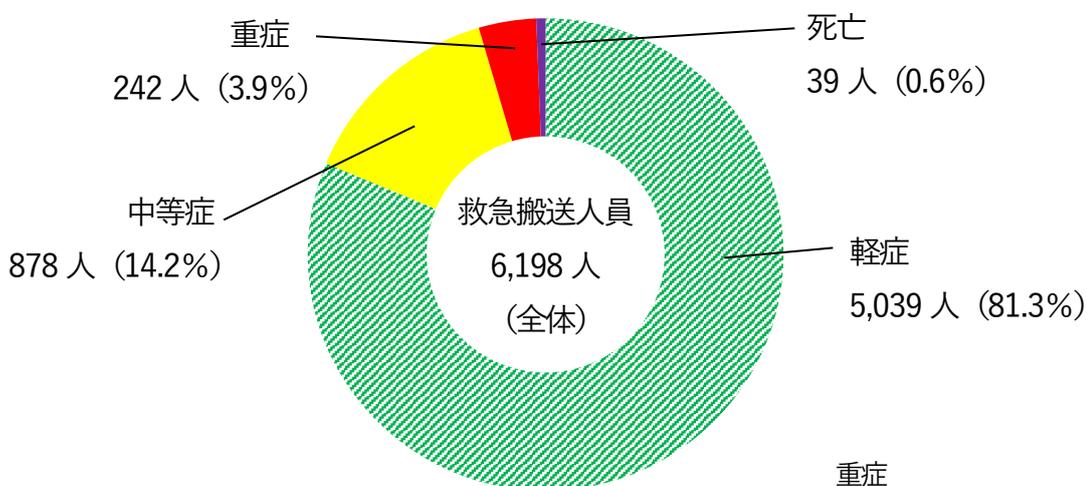
なお、傷病程度は、救急隊が医師に引き継いだ時点での医師による初診時のもの。

※「軽症」とは、傷病の程度が入院加療を必要としないもの。

※「中等症」とは、傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの

※「重症」とは、傷病の程度が3週間以上の入院を必要とするもの。

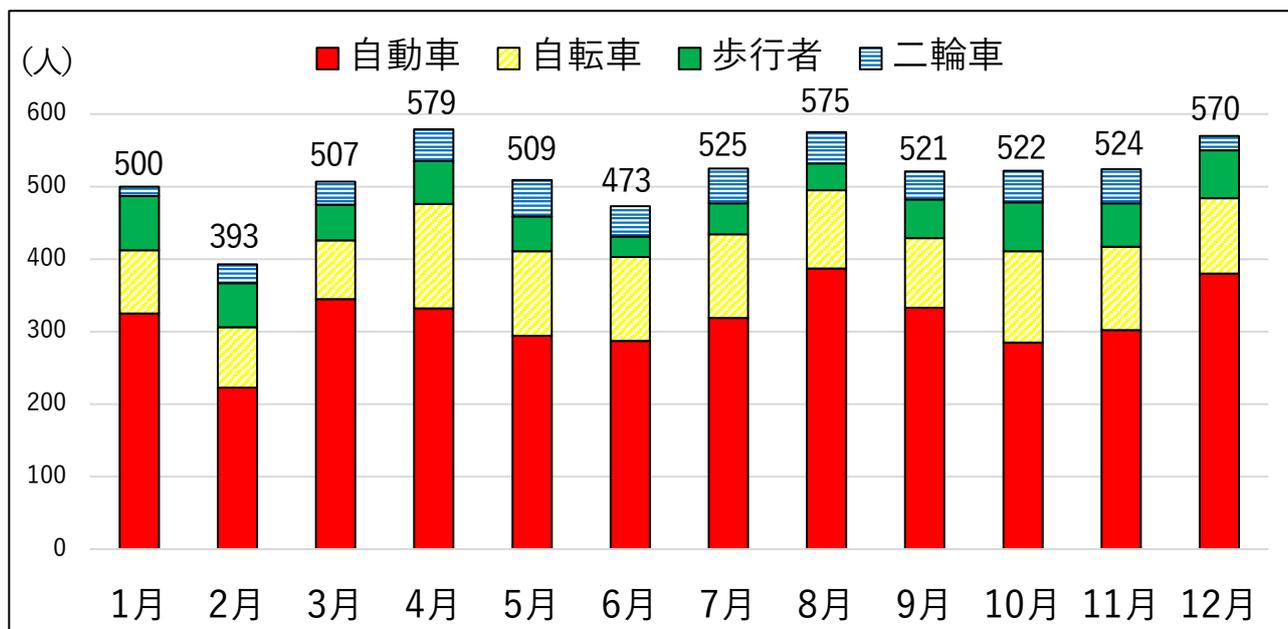
※「死亡」とは、医師の初診時において死亡が確認されたもの。



### 3 月別の救急搬送人員

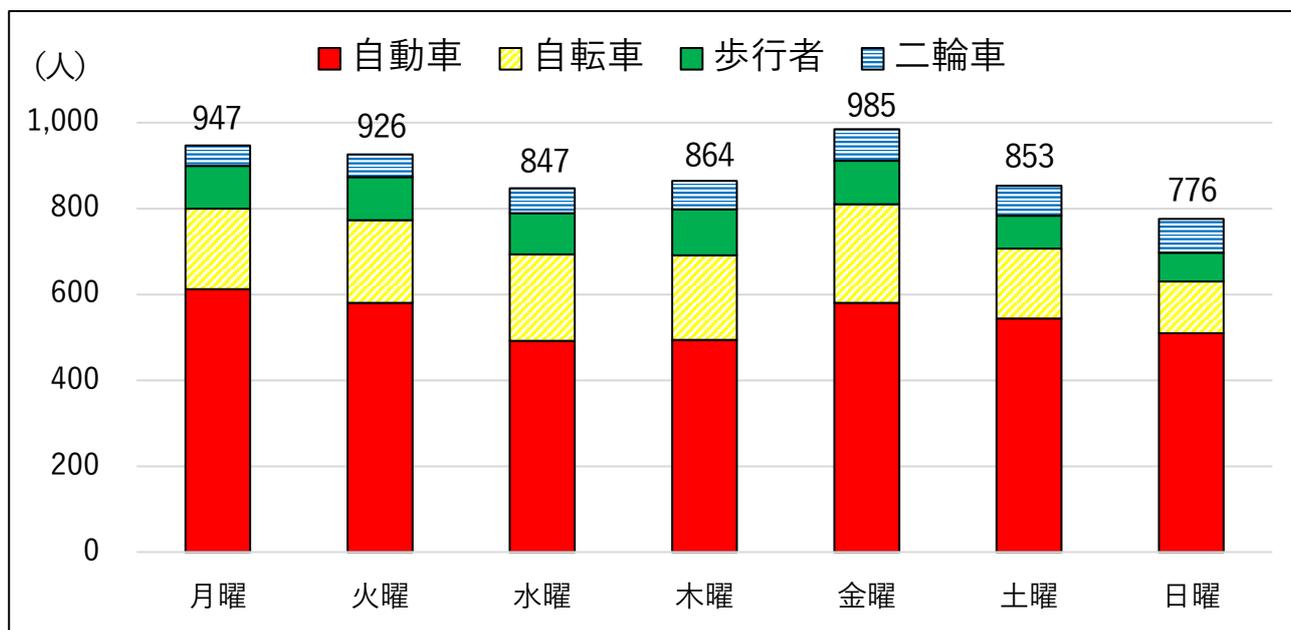
月別の救急搬送人員をみると4月が最も多く579人、次いで8月が575人、12月が570人と続きます。

4月に交通事故が多いのは、新年度となり新しい生活が始まるなどして、人の動きが活発になることや、不慣れな道を通ることなどが影響していると推測されます。



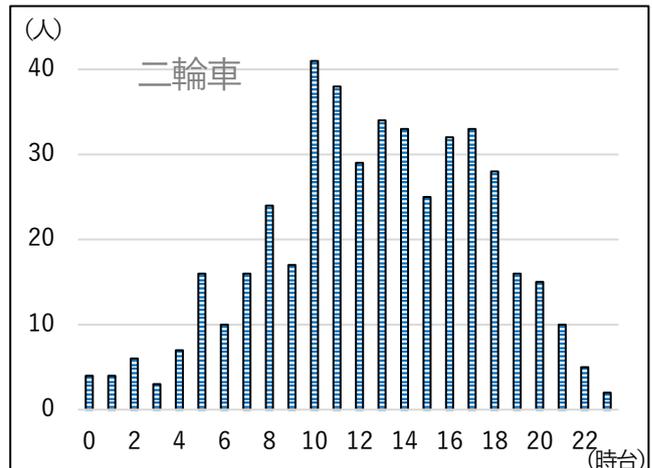
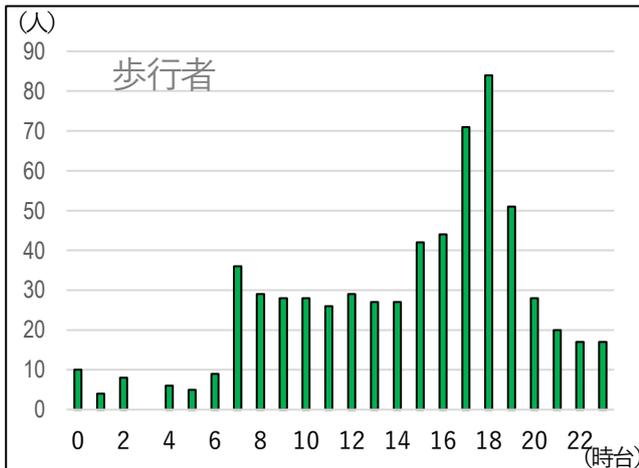
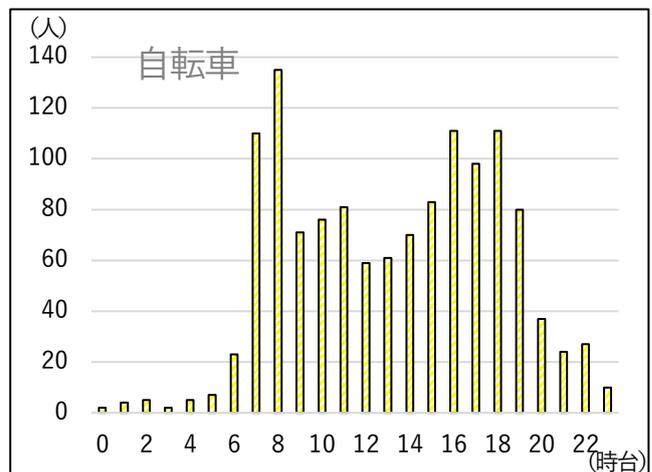
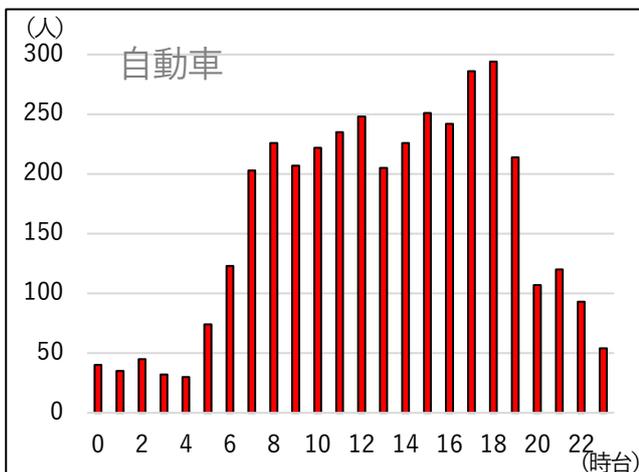
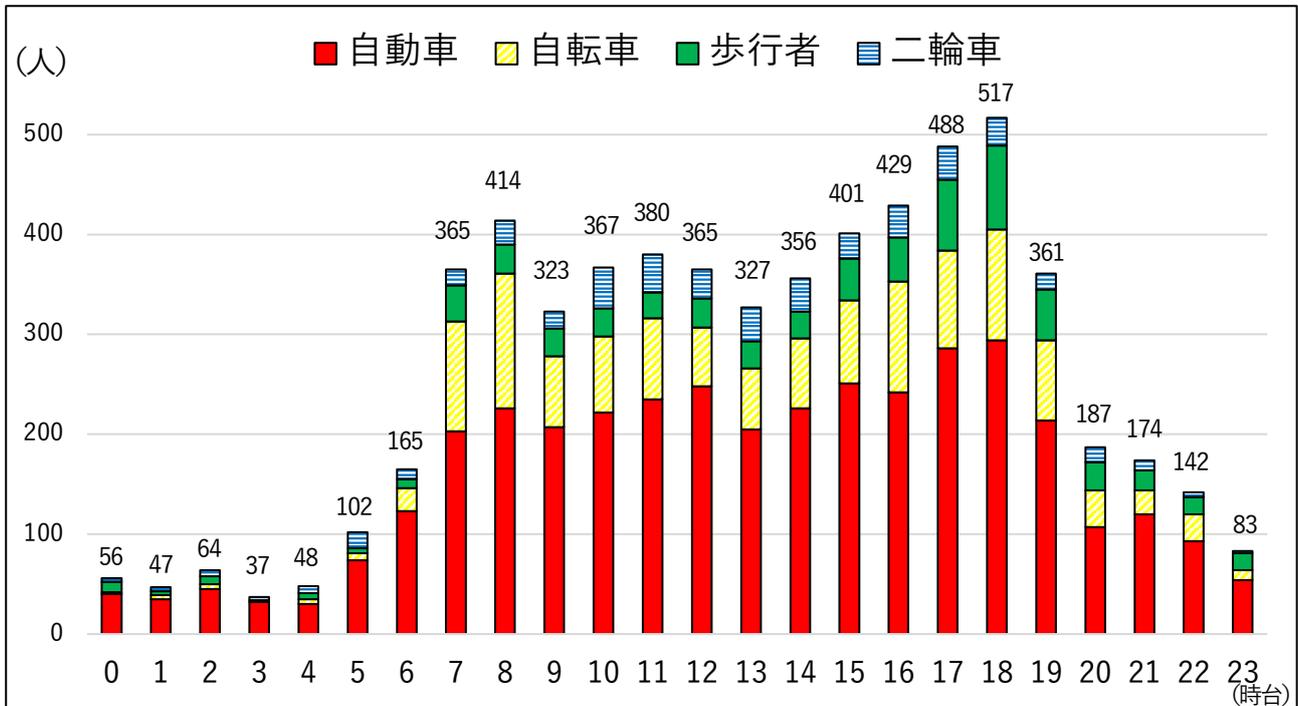
### 4 曜日別の救急搬送人員

曜日別の救急搬送人員をみると、金曜日が最も多く985人、次いで月曜日が947人、火曜日が926人と続きます。



## 5 時間帯別の救急搬送人員

時間帯別の救急搬送人員をみると、朝の通勤・通学の時間帯、お昼前の時間帯、夕方時間帯の3つがピークとなるグラフとなり、それぞれ人の移動が活発化することにより交通事故が多く発生していると推測されます。



## 6 年代別の救急搬送人員

年代別の救急搬送人員をみると、「15歳から19歳」が最も多く622人、次いで「20歳から24歳」が565人、「65歳から69歳」が412人と続きます。

